

# 補聴器についてのアドバイス

補聴器は聞こえを助ける器具であって、聴力そのものを治療するものではありません。

はじめて補聴器を使った時、一度にいろいろな音が聞こえて、かんじんな聞きたい音が聞きわけられず不便に思うことがあります。しかし時間をかけて訓練すれば誰でも、補聴器を使えるようになります。

まず、補聴器になれましょう。静かな所で時計の音など単調な音を聞いて、補聴器になれて下さい。

御家族の協力をえることもたいせつです。御家族に、ゆっくり、はっきり、語尾をにごさずに話してもらいましょう。なれてくればいろいろな音を聞きわけられるようになります。

長時間の使用はさけましょう。最初から補聴器を長時間使用すると、いらいらしたり疲れたりする場合があります。初めはのんびりと、少しずつ補聴器になれるようにしてください。

ボリュームをあげすぎないように。音が大きすぎるとかえって聞きづらくなります。ボリュームは2 m前後の会話が聞こえる程度に調節するとよいでしょう。

両耳に使用することをおすすめします。二台の補聴器を使用するほうが効果的です。経済的に問題ない限り両耳に補聴器を使用するのが一般的です。

補聴器の使用時間は、御本人の難聴度や必要度によって異なりますが、会議などで補助的に使用したい方も、毎日使用し補助器になれる必要があります。

当院では、東海大学病院耳鼻咽喉科指定の補聴器専門技師をご紹介します。

試用期間をもうけてくれます。お気軽に御相談下さい。

補聴器専用の詳しい説明パンフレットがクリニックに用意してあります。ご希望の方はお申し出ください。

|         |               |     |         |
|---------|---------------|-----|---------|
| 矢野耳鼻咽喉科 | 藤沢市善行 1-25-11 | 8 1 | 3 5 4 1 |
| 医学博士    | 日本耳鼻咽喉科学会専門医  | 矢野  | 潮       |
|         | 日本耳鼻咽喉科学会専門医  | 矢野  | ゆかり     |
|         | 日本耳鼻咽喉科学会専門医  | 矢野  | さゆり     |